

【報道関係各位】

2009年11月吉日

中学受験の四谷大塚
11/3「全国統一小学生テスト」
全国 1,884 会場で、99,931 人が競争しました。
大都市圏と地方、
高学年ほど学力の格差が拡大。

全国統一小学生テスト

小学2・3・4・5年生対象

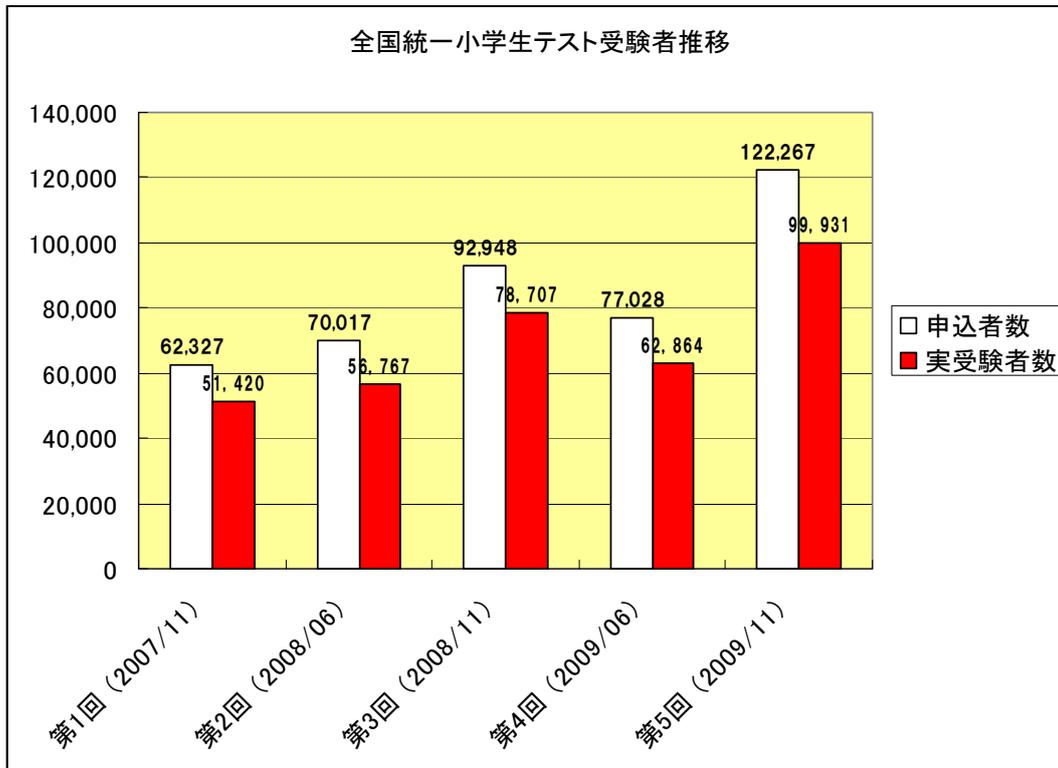
新たに2年生が受験できるようになりました。

■昨年同期比 127%、99,931 名が受験。申込ベースでは 12 万人を超える。■

去る 2009 年 11 月 3 日(火・祝)、小学 2・3・4・5 年生を対象に、5 回目の全国統一小学生テストを開催いたしました。全国 47 都道府県 1,884 会場で実施しました。新たに 2 年生を加え、史上最高の受験者数となった昨年 11 月より、約 3 割の増員となる 99,931 名の小学生が受験しました。申込時点では、12 万人を超えていましたが、インフルエンザなどの影響で、11 月実施の過去回より若干欠席率が高くなりました。学年別の内訳は、小2が 18,570 名、小3が 23,097 名、小4が 27,801 名、小5が 30,463 名。最も受験生が多かった都道府県は、全学年とも東京都で合計 24,219 名でした。

「全国統一小学生テスト」は中学受験の四谷大塚が、2007 年 11 月「さあ、競争だ。」というキャッチコピーを掲げ、初めて開催した民間による小学生のための全国的な学力テストです。子どもたちが互いに競い合うことで、子供の「転んでも起きあがる精神」を鍛え、逞しく生き抜く力を身につけた、未来のリーダーを育成することを目的としています。受験者にお渡しする成績表には、全国順位と都道府県順位を記載し、自分がどのような位置にいるのかを客観的に把握できるものとなっています。

試験会場は、四谷大塚直営各校舎・四谷大塚NET加盟塾・四谷大塚YTネット提携塾・公認会場で、全国 47 都道府県すべてを網羅し実施しました。



次回は、来年 6 月 6 日(日)に実施する予定です。

■11/23(月・祝)成績優秀者による全国統一小学生テスト決勝大会を実施■

全国統一小学生テストは、競争を通して、たくさん子どもたちに勉強を始めるきっかけを作ってもらおうと、全国で広く実施しております。と同時に、「でてこい、未来のリーダーたち。」のスローガンのもとに、将来の日本、そして世界を背負って立つ未来のリーダーにふさわしい成績優秀者たちが、全国各地から続々と集まってきます。

そこで前回(2009年6月)から、全国トップクラスの子どもたちが、より手ごたえのある問題に挑戦し、本当の全国トップを決する「全国統一小学生テスト 決勝大会」を実施しております。今回は、11/23(月・祝)開催いたします。

「全国統一小学生テスト 決勝大会」は、全国統一小学生テスト終了後、3~5年の全科目受験者の成績上位者 50 名が四谷大塚お茶の水校舎に一堂に会し、決勝大会のために特別に作成したテスト問題で実施されます。まさに、未来のリーダーによる決戦大会です。

また、決勝大会の結果は、11/27(金)以降に同ウェブサイトにおいて発表します。

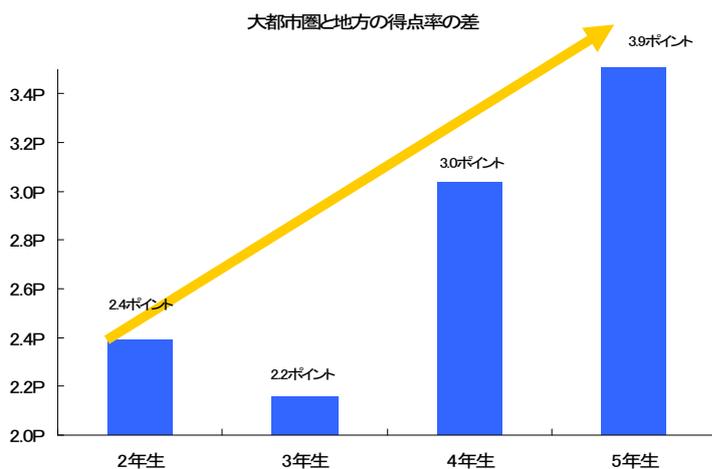
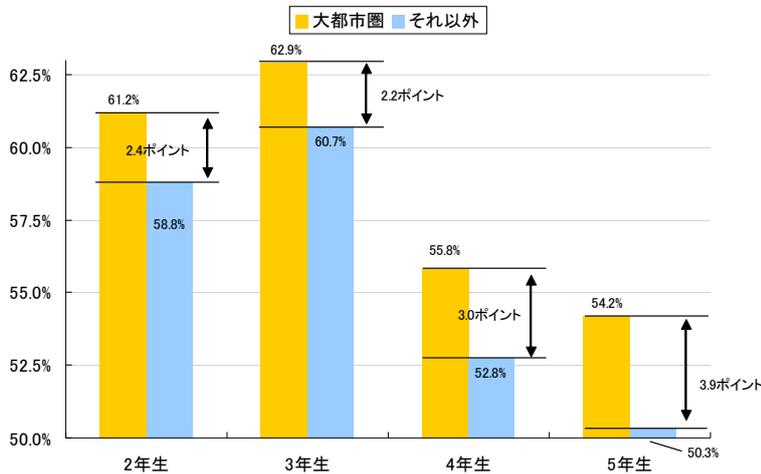
<http://www.yotsuyaotsuka.com/toitsutest/>

■ 大都市圏と地方、高学年ほど学力の格差が拡大。■

成績分析の結果、これまでと同様、大都市圏と地方で学力の地域格差が認められました。下のグラフは、大都市圏とそれ以外の地方との比較です。2年生 300 点満点(2 教科)、3 年生 300 点満点(2 教科)、4・5 年生 500 点満点(4 教科)の得点率の平均を百分率で表したものです。

前回に見られた「学年が上がるにつれて、得点率の地域格差が広がる」という現象は、今回も確認されました。しかも、4 年生からはより顕著に現れています。ただし前回と異なるのは、今回より新たに加わった 2 年生と 3 年生の地域格差はほぼ変わらないということです。この理由のひとつとして、大都市圏では 4 年生からの通塾率が地方と比べて格段に高まるといえることが言えそうです。

学年	大都市圏	それ以外	格差
2 年生	61.2%	58.8%	2.4%
3 年生	62.9%	60.7%	2.2%
4 年生	55.8%	52.8%	3.0%
5 年生	54.2%	50.3%	3.9%



※ ここでいう「大都市圏」は、当社独自の判断で、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・愛知県・大阪府・兵庫県・京都府・奈良県を指します。

■11/3「全国統一小学生テスト」の様子■

四谷大塚お茶の水校舎では、1会場での受験者として最大となる約1,500名の小学生が受験。



①続々と校舎に集まる受験生とその保護者の方々。(上記左)



②はじめてのマークシートの記入の説明を受ける3年生。(上記右)



③満員の教室で受験に挑む5年生。(上記左)



④試験開始と同時に開催された保護者説明会の模様。最新のデータに基づいた、中学受験の実状に深く頷きながら聞き入る様子。(上記右)

※問題分析ほか、その他の分析結果の詳細はwww.yotsuyaotsuka.comにて公開を予定しています。

■株式会社ナガセについて■

1976年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に88の直営校)や、全国47都道府県に800校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格445名(2009年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約10万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。2006年10月から四谷大塚(中学受験)、2008年2月よりイトマンスイミングスクールをグループ化するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010年10月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」の開設を予定しており、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

■四谷大塚について■

1954年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる2万人を超える受験生が競う“合不合格判定テスト”、首都圏の直営19校舎(2009年7月に大宮校舎・11月に豊洲校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。

また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有効塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008年2月から開始しています。

<全国統一小学生テスト結果に関するお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部：市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-29-2

TEL:0422-44-9001 FAX:0422-44-9129